



「ぼくの将来の夢」



南比都佐小学校 六年 太田 侑真

ぼくの将来の夢はプロ野球選手です。なぜならぼくは、野球が好きで三年生のときから野球を習っているからです。

習い始めたきっかけは、小学一年生のときでした。テレビで高校野球の試合を見て、高校生がホームランを打ったり投げたりしているシーンを見て楽しそうだなーと思ったからです。

小学三年生のときにスポ少に入りました。そのころはまだみんな、遊びかんかくで打ったり投げたりして楽しんで野球をしていました。

小学校四年生になってからは、二つのチームに分かれ、ぼくは年上のチームに入って練習しました。練習はきつかったけど、その分、どんどん上達しました。練習は大谷公園で一日中ありました。しんどかったけど、うまくなりたいから一生けん命練習しました。まだ試合には出られませんが、みんなで、六年生の試合を一生けん命見ていました。六年生の試合は、さすがにはく力がありました。

五年生になってからは、試合にたくさん出られるようになりました。公式戦と言う県大会に行くための試合もあり、ぼくは、野球に真剣にと

りくむようになりました。でもがんばって練習したけど、ぼくたちのチームは一度も公式戦で優勝できませんでした。くやしかったです。でも、そのぶん来年ぜったい優勝してやろうと思いました。

そして今年、少年野球最後の小学六年生になりました。でも野球をやりたい人が少なくなり、人数が減って二つあったチームが一つになりました。六年生の公式戦は六回あります。県大会に行けるようにみんなでがんばって練習しました。公式戦一回目、二回目は、気づくとおわっていました。そして六月に三回目の公式戦がありました。一、二回戦はじゅんちように勝ち進み、気づいたら決勝までできていました。初めての決勝にぼくたちは、きんちようしていたけどだんだんできてきて気づくと四対四で最終回をむかえました。しかし、相手のこうげきで2アウトランナー3るいの場面でヒットを打たれてざん念ながら負けてしまいました。くやしかったけど、みんな、決勝まで行ったから次こそ優勝するぞ、と思っていました。でも次も勝てないまま四回目、五回目の夏の試合が終わりました。そして、九月に六年最後の公式戦の日が来ました。一回戦は今まで三回負けている北里でした。両チームとも点がとれずに四回まで来ました。ぼくたちのチームのこうげきで、2アウトランナー2るいでぼくたちのチームの人が2るい打を打って1点取りました。でも、そのうらの回で、点を取られてまた1対1になりました。そのまま最終

回まで行って、ぼくたちのこうげきで2アウトランナー2るいの場面でキャプテンがヒットを打ってサヨナラ勝ちしました。やっと勝ってほんとうに、うれしかったです。ぼくは、その試合でヒットを1本打ちました。打ってよかったです。でも二回戦で負けてしまいました。最後まで優勝できず公式戦がおわりました。

ぼくがこうして野球を続けてこられたのは、やっぱり野球が好きだからです。そして、みんなでやる喜びがあるからです。そして、ぼくをささえてくれたいろいろな人のおかげです。毎週土、日に、送りむかえをしてくれた両親。野球をおしえてくれる監督、コーチ。いっしょにプレーしてくれたチームメイト。その人たちに感謝しながらこれからも野球をずっと続けていきたいです。そして多くの人に注目されるプロ野球選手になりたいです。

